車特集 第8弾

OBスバリスト集合! 抜群の走行性能と安全性能

なんといっても カッコいい車 に乗りたくて

SUBARU（スバル）は、株式会社 SUBARU（旧・富士重工業）が展開する自動車製造部門のブランド名だ。その熱心なファンを「スバリスト」というのをご存じだろうか。今回取材させていただいた先輩の車は、スバルを代表する２車種。大衆車で唯一、水平対向エンジンを採用したスバルの技術力と安全性、そして惹かれるのが、そのカッコいいルックスだ。先輩方が惚れ込んだ車を紹介しよう。

Profile

窪池　裕史（くぼち ひろふみ）さん
21歳　野洲在住
H28 年本校電気科情報電子コース卒業
在学時はサッカー部
現在　㈱イシダ滋賀事業所勤務
　　海外向けの機械 ACP700（オートケースパッカー。段ボール自体を組み立て、商品を梱包する機械）の調整とテストを担当。

平井　喜一（ひらい きいち）さん
21歳　東近江市在住
H28 年本校電気科情報電子コース卒業
在学時は新聞部のカメラマンとして活躍
現在　大阪工業大学工学部電子情報通信工学科3年生
　　写真部部長として日夜撮影や、日本学生写真部連盟の仕事に日本全国を飛び回る。

レヴォーグ 1.6 STI スポーツアイサイト
LEVORG 1.6 STI Sport EyeSight

フォレスター エックスブレイク
FORESTER X-BREAK

助手席に初めて乗せた女は「オカン」

一台目に自分で買った軽自動車のハスラー（スズキ）に乗っていた窪池さん。「ちょっともの足りない?」との思いがあったそう。社会人3年目にハスラーを兄に譲り、スバルのレヴォーグをローンで購入。約４４０万の出費だ。友人から「どこにそんなお金あるの?」と聞かれ、「彼女いーひんで、お金使うところないし!」と返し、みんなで爆笑。「彼女いない歴＝年齢でーす」と明るく笑う。笑顔が爽やかで、いかにも彼女がいそうな感じの窪池さんだが・・・。気を使って後部座席に乗ろうとしていたお母さんにも、「もう、ええから前に乗りいな」と助手席を勧めたそうだ。

２０１９年4月27日に納車された窪池さんのレヴォーグ。色はクリスタルブラック・シリカ。選んだ理由は、父の薦めと「カッコいい車を買って、女の子を乗せたい!」という思いと、乗っている人が少ないこと。

７月のある日、後部座席に後輩を乗せ運転していた窪池さん。後輩に呼ばれて一瞬後ろに振り向いた。「危ない!」目前に信号待ちをしている車があった。ブレーキをかけようとしたが「間に合わん。終わった」と思った瞬間、アイサイトが反応した。自動で急ブレーキがかかったのだ。「アイサイトがなかったら完全に廃車になっていた」と語る。スバルで良かった。

安全と窪池さんの未来の彼女を乗せて、行け行けレヴォーグ。どこまでも!!

↙↓それぞれの運転席

スバルのアイデンティティ 水平対抗エンジン

一般に、大衆車のエンジンは縦型。スバルの水平対抗エンジンは横長で固定されるため、重心を低くできる。抜群の安定性を運転者にもたらしてくれる所以だ。

一眼レフカメラを手に撮影旅行

卒業してしばらくは、父から譲り受けたトヨタＳＡＩ（サイ）に乗っていた平井さん。今年４月に事故に遭う。蒲生から八日市方面へ直進していた。平井さんの走行車線が道幅の広い中央線のある優先道路で、両サイドは田んぼ。見晴らしもよく、前方右側から乗用車が近づいてくるのは見えていた。

「えーまさか出てくる?」よけようと思った時には、相手車が平井さんの運転席ドアに正面から衝突、平井さんのＳＡＩは車止めのブロックに乗り上げ、右後輪のタイヤは吹っ飛んでいた。その後警察を呼び、現場検証を済ませたものの、平井さん自身は首をむち打ちし、三か月の通院をするはめに。過失割合は、相手方：平井さん＝95：5で、相手の不注意が認定され、事故は収束する。

→事故時の三連続写真

さて、ＳＡＩが廃車になり、ある程度保険で補てんも見込める。「次は何に乗ろう?」しばし代車生活を送り、ＣＭで目にとまったスバルへ試乗に出かけた。フォレスターX-BREAKとの出会いだ。撮影のため山道にも入っていくので、車高が高く運転しやすいＳＵＶはもってこいだ。水平対抗エンジンによる安定性も心強い。四輪駆動でパワーも申し分ない。

加えてX-BREAKは、オレンジのラインが入り、冒険心をくすぐるアクティブなデザイン。「これにしよう」かくして6月に待望の納車を迎えた。

愛車フォレスターで旅に出かけ、撮影してきた写真を見せてもらうのがますます楽しみだ。

軽自動車、ハイブリッド車に乗っていた2人があえて燃費の良さを捨ててでも乗りたかった車の魅力が伝えられただろうか。

「自動運転みたい」と2人が口を揃えたクローズコントロール機能。前車との車間距離を保ち、走行する。車線逸脱抑制機能もあり、ハンドルを握る必要がなく「ちょんとそえるだけ」という。自分も早く運転がしてみたい。（月）

交通事故ゼロを目指して 「アイサイト」って?

1989年に運転支援システムの研究開発に乗り出し、国産で一番早く販売を実現したスバル。予防安全装備のアイサイトVersion.3では視野角・距離を拡大したことで性能を向上させたプリクラッシュブレーキをはじめ、全車速追従機能付のクルーズコントロールと車線中央維持や先行者追従操舵を行うステアリング制御を組み合わせたツーリングアシストなど、安全性を向上させつつ運転負荷の軽減を図っている。

【車好きな君へ】 新聞部特派員として、車特集に参加してみませんか？次回はソアラ、スカイラインなどを深掘りする企画を予定しています。詳しくは最寄りの新聞部員または顧問まで。